

事後評価シート

コード 6-2-6	事務事業名 元気高齢者支援事業	所管部課 保健福祉部高齢者支援課
--------------	--------------------	---------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 いつまでも学びたい、学習を通して成長したいという高齢者が容易に質の高い講義を受けられるよう、高齢者の生きがい推進事業の一環として、生涯教育の場を身近な地域に設けて実施している。		事業の区分 <input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事務事業	
	実施内容、実施方法 総合講座・英会話・健康体操教室等の講座の参加を呼びかけ、各福祉会館で実施している。 60歳以上の高齢者を対象に原則受講料無料で実施。		根拠法令等 老人福祉法第20条の2	
	事業開始時期	平成 14 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 活動講座数	活動指標の考え方(定義) 市が活動のために用意した講座数		
	成果指標名 1次 開設受講者数	成果指標の考え方(定義) 1次 講座を利用している延べ人数(目標 各講座定員枠)		
	1次	1次		
	2次	2次		

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)		5,111	5,510	7,424	7,867
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		5,111	5,510	7,424	7,867
	所要人員(B)	人	0.6	0.6	0.6	0.6
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	4,201	4,201	4,201	4,201
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	9,312	9,711	11,625	12,068
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (活動講座数)	千円	18	19	22	#DIV/0!
歳入	千円					
活動指標	目標値	講座			660	730
	実績値	講座	505	520	521	
活動指標	目標値					
	実績値					
1次成果指標	目標値	人			17,500	18,400
	実績値	人	13,605	14,098	18,391	
1次成果指標	目標値					
	実績値					
2次成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	各講座について定数が決められているが、希望の多い講座は定数増で受け入れてほしい。アンケート結果をみても満足度は高い。
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	講座内容は、各区・市違いはあるものの各々同様の講座を開設している。
	運営上の制約条件・外部要因等	年々高齢者人口が増加の中、限られた予算・施設で行うため初心者(過去に受講したことがない)を優先して受講者を決定している。

コード 6-2-6	事務事業名 元気高齢者支援事業	所管部課 保健福祉部高齢者支援課
--------------	--------------------	---------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	目的の妥当性 4 上位施策と目的が合致しており、施策に対する貢献度は他の事業と同程度である	▼	4
	目標の妥当性 4 市民等のニーズに基づき目標を定量的に設定している	▼	4
	緊急性 4 今後しばらくの間、少しずつでも継続して実施する必要がある	▼	4
2 市が関与する必要性	法的義務性 5 法律で実施することが義務づけられている	▼	5
	必要性 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	▼	2
	民間との役割分担 2 民間団体が同種のサービスを提供しているが、質・量共に下回っている	▼	2
3 内容の適切さ	ニーズ 3 市民(庁内)ニーズが明確に把握できており、ニーズに見合ったサービスである	▼	3
	規模・方法の妥当性 4 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズに基づき数年おきに見直している	▼	4
	公平性 3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民または団体が対象である	▼	3
4 実施手段の適切さ	有効性 4 現在、質・水準の改善に取り組んでおり、成果の向上が期待できる	▼	4
	効率性 3 既に他の実施主体を一部活用し、コスト低減に取り組んでいる	▼	3
	独自性 1 国や都、庁内に同種の目的を有する(類似・重複を含む)他の事務事業が複数ある	▼	1
合計			39

	評価結果	判断理由、説明等
総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	健康体操教室は、高齢者の介護予防の意味も含めて利用率が高く、資料は無いが医療費の削減に寄与している講座である

18年度における改善点	健康体操教室について、利用者が年々増加傾向にあり(17年度376名・18年度521名)全ての会館で午前中、2コマの実施に増やさざるを得ない状況になってきた。(17年度は、5館中3館について2コマ実施)このまま利用者が増加傾向にあるならば次年度から隔週実施も考えざるを得ない。
-------------	---

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	カルチャー教室的な講座については、社会教育・生涯学習事業としての面もあり、公民館事業との整合性を考慮しつつ実費のほか自己負担・参加費の徴収が検討できるのではないかと。元気高齢者であれば、自主サークルとしての活動への移行を促し、自主的活動として施設利用をしていただくなど、自立した生きがい活動を支援する方向に向かうべきであろう。
------	---	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	高齢社会が進展する中で、介護等の支援を必要とする高齢者への施策とともに、今後は元気高齢者への支援もますます重要となっている。当該事業は、元気高齢者に対する介護予防策であるが、趣味、教養、娯楽に供する一面もあり、受講料等の実費負担については一定の受益者負担を求めるべきである。また、高齢者の支援事業については、庁内で類似事業が多くなされている。この点については、類似事業を整理し、他課で実施していない事業や事業本来の趣旨にあった内容に改善されるべきである。
--------	---	---